

サッカースタジアム等の整備状況について

1 要旨・目的

サッカースタジアム及び中央公園広場エリアの整備状況等を報告する。

2 現状・背景（経緯）

- ・令和3年3月31日 サッカースタジアムと広場エリア等の整備について、DB（デザインビルド）事業者を選定【代表者：大成建設】
- ・令和3年8月31日 広場エリアの賑わい施設整備・運営を担う民間事業者（PPFI）を選定【代表者：NTT都市開発】
- ・令和4年2月1日 サッカースタジアムの工事着手
- ・令和4年7月28日 中央公園全体の魅力向上を図るため、中央公園において、「広島市中央公園エリアマネジメント協議会」設立
- ・令和4年10月7日 サッカースタジアム指定管理者募集開始

3 概要



（1）工事進捗状況

ア サッカースタジアム本体（DB事業）

- 躯体工事は、最上階まで着手
- 北側，西側，東側工区では屋根鉄骨工事を実施中（南側は次年度）

イ 広場エリア（PPFI事業）

- 令和5年8月の工事着手に向け，実施設計中

(2) 指定管理者候補者の選定

ア 指定管理者候補者 : 株式会社サンフレッチェ広島

※隣接する広場エリアは、PPFI 事業者 (代表者:NTT 都市開発) を指定管理予定者として選定済

イ 指 定 期 間 : 令和5年12月28日～令和15年3月31日

ウ 主 な 提 案 内 容 (詳細は別紙のとおり)

(ア) 管理運営についての基本的な考え方

世界基準のスタジアムを目指し、「まちなかスタジアム」として、試合開催日以外でも一年中いつでもにぎわう都心交流型スタジアムを実現する。

(イ) 多機能化施設 (にぎわい施設) の整備・運営

○サッカーミュージアム (スタジアムツアー含む)

- ・サッカー以外にも平和をテーマとした展示
- ・サッカーファン以外も楽しめ、学べる場となるよう、体験型コンテンツを付加
- ・ミュージアムを起点に、魅力的なスタジアムツアーを実施

○スタジアムショップ

- ・県民、市民、観光客をターゲットに広島県内特産品等も販売

○レストラン、カフェ

- ・地元食材中心の新鮮で美味しいフードメニューを提供予定

(ウ) 年間を通じて広域から幅広い世代の県民、市民等を集客するための取組

○県産品の活用や、県内23市町の魅力発信など県内市町等の参画を図るための取組

- ・スタジアムショップやレストランで県産品を積極的に活用・販売
- ・ホームページ等で県内23市町の魅力発信、試合日に各市町の観光物産PRを実施

○非試合日における多目的利用の促進

- ・VIPエリアをパーティー会場、スカイボックスをシェアオフィスとして活用など

○イベント等の実施

- ・これまでのイベント開催経験を活かした、多様なイベントの開催

(3) 今後のスケジュール

| | |
|------------|--------------------------------|
| 令和5年2月～3月 | 指定管理者の指定に関する議案の審議 (広島市議会) |
| 令和5年4月頃 | 指定管理者の指定 ⇒基本協定の締結 |
| 令和5年12月28日 | サッカースタジアム指定管理開始 (令和15年3月31日まで) |
| 令和6年2月 | サッカースタジアム供用開始 |
| 令和6年8月 | 広場エリア供用開始 |

(4) 予算 (単県)

サッカースタジアム等整備事業関係

令和5年度当初予算案 104,037千円

(令和4年度2月補正予算案 153,170千円)

(5) 今後の対応

「広域からの集客」や「県全体の活性化や中枢拠点性の向上」に繋がる施設となるよう、引き続き、広島市と連携していく。